

平成23年度城里町教育委員会事務事業の外部評価結果をお知らせします

教育委員会では、平成23年度に実施した事業の事務の管理と執行の状況について、学識経験者で組織する「城里町教育委員会外部評価委員会」による点検及び評価を行いました。教育委員会では、この点検・評価をもとに、これまで以上に効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

■評価対象事務事業

平成23年度に実施した事業のうち、平成22年度外部評価の指摘事項を参考に抜粋した11事業

○幼児教育・学校教育の充実／7事業（ALT設置事業、TT非常勤講師事業など）

○生涯学習・生涯スポーツの推進／4事業（花いっぱい運動、ふれあいの船事業など）

■評価方法 妥当性・有効性・効率性の3つの項目を、それぞれ4段階で評価しました。

■評価内容 ＊4は評価が高く1は評価が低い。

妥当性	—	有効性	—	効率性	—	事業数
4	—	4	—	4	—	7
4	—	3	—	4	—	1
4	—	3	—	3	—	1
3	—	3	—	3	—	1
1	—	4	—	1	—	1

今回対象とした事業のうち半数以上の7事業については、すべての項目が最高値で、一定の成果を残しており、事業内容が高く評価されました。

※東日本大震災の影響で中止とした事業につきましては、評価対象から除外しています。

※報告書の詳細については、城里町教育委員会ホームページ（<http://www.town.shirosato.ibaraki.jp/kyouiku/>）をご覧ください。教育委員会事務局で閲覧することができます。

問合せ 教育委員会事務局(常北公民館内) ☎029-288-7010

文芸しらすと

短歌

枕辺を小さく灯すその中にう
たひとつ生れて安らぎ眠る
渡辺千紗子
パソコンの賀状のすみにペン
書きで「転ばぬように」と孫娘
の文字 山形 式妙
坂道を上りて逢ひしふるさと
の海輝りて蒼く静もる
大森 久子
羽子つきをバトミントンと言ひ
ながら息はづませて孫ら打合ふ
青柳 京子
さくさくと雪踏みしめて墓参り
母の立ち日に娘らも来たりて
所 美恵子

親よりも長寿に在れば親孝行
とふ母の教えに寿康を願ひぬ
杉山みちこ
幸せを運び来るよな福寿草黄
色輝きふくらと咲く
鶴田 すが
代々と守り来たりし雛人形真
壁の里は和の風賑わう
藺部 光子
春一番杉の花粉を運びきて車
ぬぐる布は黄に染む
枝 不美
陽のぬくみしみる窓に身をよ
せて人を恋いつつ春を待ちある
片見 和枝
手づくりの雛眺めつつ亡き母
と雛飾りたる遠き日思ふ
川上千代子

ゆっくりと季節が過ぎ居し我
が家のひいなを宵をひとしほ
恋うる 島 愛子
戦禍うけ七段雖も灰なりぬ昔
語りか弥生は苦し
多田志保子
風吹きて枯葉が飛びきし店の前
さまさまに舞う蝶のとぶごと
坪井きよ子
白き歯を覆われれば孫は吾に告ぐ
「パパが歯みがきしてくれたの」
と 萩谷登喜子
合格をケイタイで知らせる娘ら
眩し夢かなえたる未来を思う
富田佐智子
山々に春の気配や押し寄せる
寒き北風いつしか去りぬ
川原 清

俳句

降る雪と屋根をどすんと落ち
し雪 飯田 勇一
花菜畑ローカル線を見送れり
鯉淵寿美恵
自転車で巡査巡回長閑なり
仲田まちな
春の星赤き会津の絵蠟燭
森 静江
臘梅の香り漂ひ句会場
袴塚よし子
淡雪に電光板の華やげり
寺門 孝子
裏戸より見えて春菜のみづみ
いそべきよ

ブラウスは少し派手目に植木市
一杉 常子
綴じ紐の無傷まつすぐ梅咲けり
竹内 幸子
雀らも首すばめをり春の雪
田所さた子
あつといふ声押し殺し落椿
今瀬多代美
福寿草登山電車とみつめあひ
飯村 昭子
路の臺裏山犬の運動場
綿引 英子
帯ゆるく巻いてひねもす春の雨
瀬谷 博子
啓蟄や庭木圃いの焼く煙
岩下 金司

川柳

庭に欲し梅の一樹の紅と白
田口 勝元
日が昇り雪解けの水宙うつす
富田 欽子
あんた誰呆けが始まり日に三度
青木新三郎
五億円当たった夢で腰抜かし
富田 多蔵
飯減し野菜多めで明日ドック
飯村 孝一

